

1

ワークショップの開催概要

目的

- ・多摩市では、平成 25 年より「多摩ニュータウン再生プロジェクト」を立ち上げ、平成 28 年 3 月に「多摩市ニュータウン再生方針」を策定し、多摩ニュータウンの再生に向けて取り組んでいます。
- ・諏訪・永山地区においては、平成 30 年 2 月に「多摩ニュータウンリ・デザイン 諏訪・永山まちづくり計画」を策定し、リーディングプロジェクトとして永山駅周辺の再構築を掲げています。
- ・以上を踏まえ、永山駅周辺再構築に向け、市民と共に永山駅周辺の再構築ビジョンを作成することを目的に、このワークショップを開催しました。

プログラム

- ・ポスターセッションを含めて全 4 回のワークショップを行いました。
- ・とりまとめたビジョンは、平成 31 年 2 月 4 日に開催した多摩ニュータウン再生プロジェクトシンポジウムで発表しました。

第 1 回 (H30.6.17)

歩いて見つけよう！永山駅周辺の魅力と課題
・3 グループに分かれてまち歩きをし、魅力と課題を話し合いました



第 1 回 まち歩き



第 1 回 グループワーク

第 2 回 (H30.7.29)

理想の永山駅周辺を考えよう！
・現況や前提条件を踏まえて、2040 年代の永山駅周辺を考えました



第 2 回 グループワーク



第 2 回 全体発表

第 3 回 ポスターセッション (H30.9.22)

みんなで描こう！将来の永山駅
・中間報告をポスターとして展示・発表し、市民の皆さんと意見交換をしました



第 3 回 ポスターセッション



第 3 回 ポスターセッション

第 4 回 (H30.11.11)

永山駅周辺再構築ビジョンをまとめよう！
・ワークショップ、ポスターセッションを踏まえてビジョンをとりまとめました



第 4 回 グループワーク



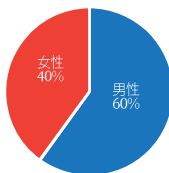
第 4 回 全体発表

**第 6 回多摩ニュータウン再生プロジェクト
シンポジウムで発表します！**

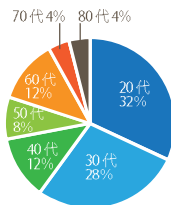
参加者

- ・平成 30 年 4 月 9 日～5 月 25 日の期間、参加者の募集を行ったところ、22 名の応募がありました。
- ・別途募集を行った多摩市ニュータウン再生推進会議公募市民委員 3 名を加えた全参加者は、25 名となりました。

■男女比



■年齢構成



2

永山駅周辺の現況

多摩ニュータウン諏訪・永山地区

- ・多摩ニュータウンは、深刻な住宅難への対応を目的として、昭和 40 年に計画が決定されました。総面積は約 2,900ha にのびます。
- ・諏訪・永山地区は、昭和 46 年に入居が開始された初期入居エリアであり、高齢化の進行や都市基盤・建物の老朽化などが喫緊の課題となっています。

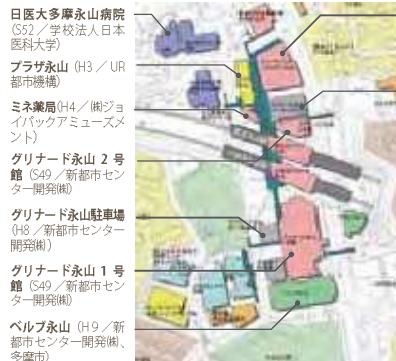
図 昭和 50 年当時の航空写真



永山駅周辺の現況

- ・永山駅周辺には、商業・業務施設、病院、公共施設、住宅等が立地しています。昭和 40 年代後半から平成初期までに建てられた建物を中心です。
- ・現在、歩行者動線となっているデッキや通路の多くは、公共用地ではなく民地となっています。

図 施設現況



「諏訪・永山まちづくり計画」

- ・平成 30 年 3 月に策定した「多摩市ニュータウンリ・デザイン 諏訪・永山まちづくり計画」では、永山駅周辺を「駅周辺拠点ゾーン」と位置づけ、「商業・交流・公共などの機能が集積し、南北をつなぐメインストリートが人々で賑わう」将来イメージを示しました。

図 駅周辺拠点ゾーンのイメージ



- ・永山駅周辺は、南北で約 20m の高低差があります。街区内の主要な動線は、駅前広場のレベル、駅改札のレベル、建物の入り口のレベルなどが異なります。
- ・階段が多いこと、経路がわかりにくいことなどが課題となっています。

図 デッキ、高低差の状況



3

歩いて見つけた永山駅周辺の魅力と課題

全体共通

コンパクトで暮らしやすいが、賑わいや景観が課題

- 魅力**
- ・駅北側に医療と健康の拠点が立地している
 - ・コンパクトに施設が集積し、暮らしやすい
 - ・全体がごちゃごちゃしていて面白い
 - ・周辺に緑が多い
- 課題**
- ・にぎわいの演出が今後の課題
 - ・(駅北側は) イベント広場やベンチがない
 - ・(駅北側は) 地権者が違うため、段差があったり舗装が違うなど景観がばらばら
 - ・(駅北側は) 全体的に暗い印象
 - ・街並みが古く、建物の表と裏が混在して、見えなくてもよいものが見える
- アイデア**
- ・外の人も来たくなるような駅前づくり
 - ・駅舎や周辺を含めた一体的な再生

動線

歩車分離で安全だが、バリアフリーやわかりやすさが課題

- 魅力**
- ・歩車分離がされていて、安全に歩ける
 - ・基礎となる通路はある
 - ・高低差や複雑な動線も、立体的で面白い
- 課題**
- ・階段が多く、バリアフリーが課題
 - ・使いにくいスロープや段数の多い階段 (▲)
 - ・歩道が途切れ遠回りになる部分がある (×)
 - ・バリアフリーのルートがわかりにくい
 - ・案内がなく、駅へのつながりがわからない
 - ・駅や広場や施設がネットワークしていない

商業施設

店舗が多く便利

- 魅力**
- ・賑わう個店やスーパーがあり便利
- 課題**
- ・外観や内装が古くなっている

日医大永山病院

駅近くで便利だが、アクセスや視認性が課題

- 魅力**
- ・駅近くに病院があり、安心で便利
- 課題**
- ・メインの入口が駅側でない
 - ・駅からわかりにくく、クランクも多い
 - ・経路に屋根がない部分がある
 - ・建物古く、イメージが悪い
 - ・北西への通り抜けがほしい (→)

さえずりの森

貴重な緑だが、行き方がわかりにくい

- 魅力**
- ・緑豊かで、ハイキング気分が味わえる
- 課題**
- ・有効活用が課題
 - ・入口・行き方がわからない

グリナード広場

イベントなどで賑わう

- 魅力**
- ・広くて様々なイベントができる
- 課題**
- ・家族や恋人の憩いの場ではない
 - ・場所が微妙でこじんまりしている

ベルブ永山

デザインの良い賑わい空間 屋上を活用したい

- 魅力**
- ・居酒屋などがある
 - ・建物デザインが良い
 - ・テラスがありカフェも眺望が良い
- 課題**
- ・屋上やテラスが開放されていない
- アイデア**
- ・屋上を BBQ 等に活用

駅北側の施設

生活動線が民地内で、賑わいはあるが景観が課題

- 魅力**
- ・市民の生活動線になっている (→)
 - ・居酒屋など様々な店舗があり、立体的な店の並びが良い雰囲気
- 課題**
- ・店舗の看板が景観上課題
 - ・ベンチなどの休憩スペースがない
 - ・市民の生活動線が民地内である



永山北公園

駅前から直接行けて、芝生があり居心地が良いので、利活用したい

- 魅力**
- ・ベンチなど座るところが多い
 - ・芝生がきれいで居心地が良い
 - ・駅前に直接アクセスできる大きな公園があるのは良い
- 課題**
- ・遊具がなく、大きい子供は飽きる
 - ・ゴミ箱がなく、ゴミが落ちている
- アイデア**
- ・カフェなどに利活用できそう

駅北側デッキ

バリアがあり、屋根が途切れる

- 課題**
- ・デッキの屋根が途切れる
 - ・細かな段差が多い
 - ・雨天時にあるきづらい

高架下

店舗裏が見えて暗く汚い

- 課題**
- ・店舗が閉鎖的で薄暗く、活気がない
 - ・裏倉庫などが丸見えで汚い
 - ・違法駐輪が多い

交通広場

バス停が不便で滞留場所が少ない

- 課題**
- ・バス停が東西に分かれていて不便
 - ・タクシー乗り場までの屋根がない
 - ・ベンチなどがなく滞留しにくい

駅南側広場

賑わいの場所だが、シンボル空間になっていない

- 魅力**
- ・イベントが行われ、活気がある
- 課題**
- ・駅前の顔なので、シンボリックな空間を目指すべき

さんかく広場

活用されておらず、暗くて汚い

- 課題**
- ・薄暗く、汚く、活用されていない
 - ・広場奥のスロープが使いにくい
 - ・喫煙スペースがあり煙たい

UR所有地

駅前立地を活かし有効活用したい

- 課題**
- ・駅近なのに未利用でもったいない
- アイデア**
- ・敷地を利活用して、施設内でバリアフリー動線を確保できるとよい

検討の経緯

第2回ワークショップで「2040年代の理想の永山駅周辺」のイメージ図を作成しました。
第3回のポスターセッションにおいて、これをポスターとして掲示し、来場者との意見交換を行いました。その結果を踏まえ、第4回ワークショップで案のブラッシュアップを図りました。

■検討の前提（現在の状況）

永山病院 老朽化が進み、駅周辺で建替えたい	駅北側 S49H34 開業で、権利者が複数
さえずりの森 有効活用が課題	鉄道駅 近年リニューアル済み
駅南側 S49 開業で、権利者は少ない	UR 局舎跡地 病院建替え用地として、利活用の協議中
ペルブ永山 H9 開業	その他 市庁舎の建替え候補地となっている

画像©2018 Google, 地図データ©2018 Google, ZENRIN



ワークショップの様子

ポスターセッションの様子

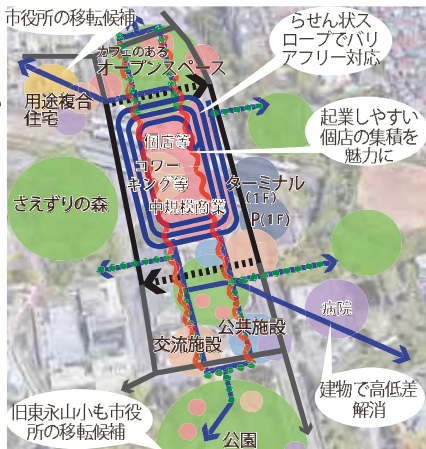
B班 立体都市 永山

■より良くするためのアイデア

- 商業・賑わい**
 - ・ 個店や小規模店舗で魅力ある商業施設
 - ・ 子供の遊び場や地域交流の場を充実
- 文化・交流・働く**
 - ・ 職住近接や起業を支援する施設
 - ・ 働くママ向け施設の充実
- 公共施設**
 - ・ 身近なサービスコーナーは近くに
 - ・ ペルブ永山は既存で活用
- 医療・子育て**
 - ・ 子育て・高齢者と分けずに世代間交流を図る
 - ・ 保育園の送り迎えを行いやすく
- 多様な住宅**
 - ・ 世代間交流を生み出すシェアハウス
 - ・ 将来永山に住みたいと思うファンを増やす
- 交通**
 - ・ 1階に駐車場と駐輪場を全て集約する
 - ・ 小型モビリティで移動できる動線整備
- 緑・オープンスペース**
 - ・ 既存の緑に加え、オープンスペースを充実
 - ・ 屋上に展望広場を設ける
- 先進技術**
 - ・ 自動運転の積極的活用
 - ・ 職住近接を支援するシステムの導入
- ソフトのまちづくり**
 - ・ 起業等個人の取組みがしやすい仕組みづくり
 - ・ 民間による指定管理や住民管理も活用する
- 防災・環境**
 - ・ 周辺団地やマンションの集会所と連携
 - ・ 多摩産材や間伐材の有効活用

■計画のポイント

- ・ 駅上に全てを集める
- ・ 南北をフラットにつなげる
- ・ 外周に緑を



画像©2018 Google, 地図データ©2018 Google, ZENRIN

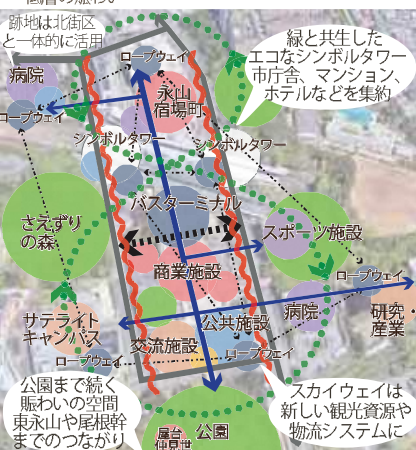
A班 ハイブリッドCITY 永山 環覧都市

■より良くするためのアイデア

- 商業・賑わい**
 - ・ 人々が集まる魅力ある店
 - ・ 様々な施設やイベントスペースを充実
- 文化・交流・働く**
 - ・ スポーツジムなど新たなエンタメ施設
 - ・ 最先端技術を活用したオフィス
- 公共施設**
 - ・ 駅前に市役所機能を設ける
 - ・ ランドマークとなるタワーの建設
- 医療・子育て**
 - ・ 子育て施設・高齢者施設の充実
 - ・ 高齢者向けのリハビリ施設の拡充
- 多様な住宅**
 - ・ 学生寮の供給
 - ・ 若者向けの研修施設
- 交通**
 - ・ スカイウェイ（ロープウェイ）による新交通
 - ・ 案内サインや屋根の設置
- 緑・オープンスペース**
 - ・ ベンチなど座れる場所を設置
 - ・ 広場を整備し芝生を導入
- 先進技術**
 - ・ 先端医療（介護ロボット）や5G等の通信インフラ
 - ・ スカイウェイによる新交通や物流システム
- ソフトのまちづくり**
 - ・ 連絡協議会による事業者間連携
 - ・ 沿道・緑道での屋台・フードカーの運用
- 防災・環境**
 - ・ 防災ホームセンター設置、公園の防災拠点化
 - ・ 木造や廃材活用によるエコな建築

■計画のポイント

- ・ スカイウェイ（ロープウェイ）「多摩の手線」
- ・ エコなシンボルタワー
- ・ 低層の賑わい



画像©2018 Google, 地図データ©2018 Google, ZENRIN

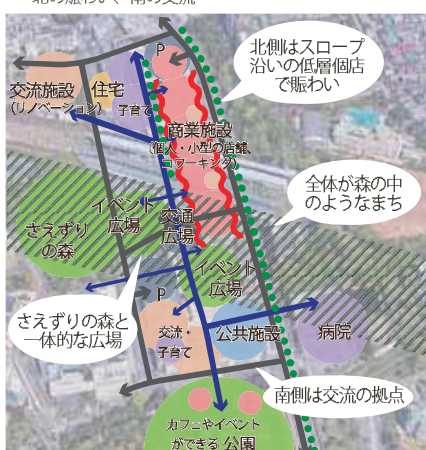
C班 グリーンウェルネス ～幸せの森大作戦～

■より良くするためのアイデア

- 商業・賑わい**
 - ・ 個性的な飲食店が店出ししやすい仕組み
 - ・ 店舗の賑わいが見える景観のルール
- 文化・交流・働く**
 - ・ コワーキングスペースやものづくり拠点
 - ・ 働くママ向け施設の充実
- 公共施設**
 - ・ 市民が自由に使える場を駅近くに
 - ・ 新しい形態の図書館
- 医療・子育て**
 - ・ 子育て施設の充実や機能向上
 - ・ 永山病院を駅と直結
- 多様な住宅**
 - ・ 学生シェアハウスや若者向けの住宅
 - ・ 住替えの仕組みづくり
- 交通**
 - ・ バスプールの拡充や屋根の設置
 - ・ 遊歩道を活用した次世代交通の導入
- 緑・オープンスペース**
 - ・ 公園をカフェやイベントで柔軟に利用
 - ・ ベンチなど休憩場所を充実
- 先進技術**
 - ・ 市内を巡回するロボットの導入
 - ・ 新交通システムの導入
- ソフトのまちづくり**
 - ・ ルールを作り運用する組織の立ち上げ
 - ・ まちの良さを教える永山らしい教育
- 防災・環境**
 - ・ 防災拠点になる公園・広場の計画
 - ・ 快適な避難場所となるような施設の計画

■計画のポイント

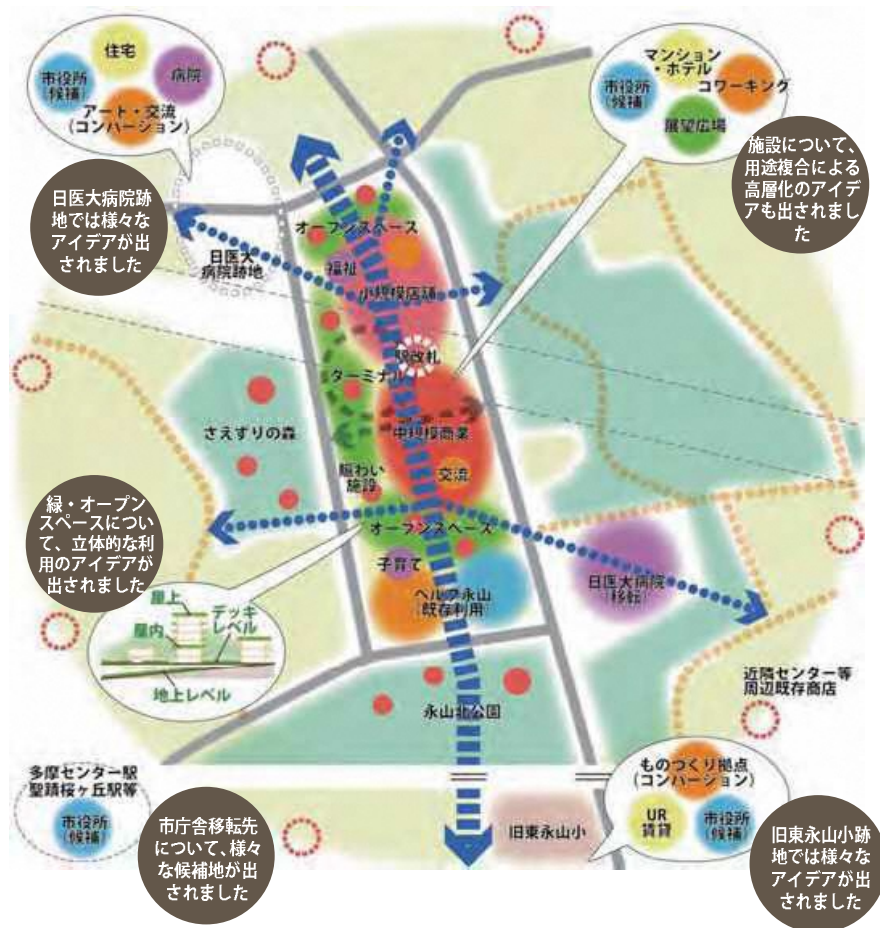
- ・ 緑豊かなまち（駅を降りたら広がる森）
- ・ 東西をつなぐターミナル
- ・ 北の賑わい、南の交流



画像©2018 Google, 地図データ©2018 Google, ZENRIN

機能と動線の考え方

- UR 局舎跡地への日医大病院の移転と連携を図りながら、諏訪永山地区全体の再生につながる永山駅周辺まちづくりを目指す
- 多摩センター等他駅との役割分担を図りながら、永山らしさである駅前の豊かな緑を資源に、小規模店舗の集積とオープンスペースの形成を充実することで、緑と賑わいがあふれる駅前へ再構築する
- ペルパ永山等良質な既存施設を活用しながら、旧東永山小跡地等周辺のまちづくり用地と連携することで、永山駅周辺で市民交流・職住近接を促進する拠点を充実する
- 駅改札やターミナル、周辺住宅地等との高低差を解消しながら、わかりやすく・移動しやすい動線を形成する



再構築のポイント

全体

高層化、中低層の施設、リノベーションなど、立地に適した規模の建物を検討し、緑を活かした永山らしい景観を形成しよう



動線

歩車分離されたデッキや新交通、エリア全体での高低差解消により、バリアフリーで安全に回遊できる動線を確保しよう



交通

交通広場の拡充やバス停の集約などにより、交通利便性を向上しよう



商業・賑わい

個性ある小規模店舗や多様な活用ができる広場などを一体的に計画し、賑わいの空間を形成しよう



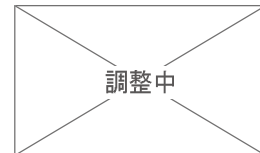
医療・福祉・子育て

子育て支援機能の充実や、駅近くでの病院の建替えにより、世代間交流や健康まちづくりをすすめよう



公共施設

駅近くに、市民が自由に使える場や身近なサービス窓口を設け、生活利便性を向上しよう



文化・交流・働く

職住近接の暮らしや、地域でのチャレンジがしやすい機能や支援を導入しよう



多様な住宅

学生や若者から高齢者など誰もがここで暮らしたいと思えるまちにしよう



緑・オープンスペース

周辺の緑やオープンスペースを保全・活用してネットワークさせ、施設内にも緑を設けて永山らしい駅前にしよう



先端技術

交通や働き方、情報、日常生活等の地域の課題解決を図る先進技術と呼び込み、実践するまちとしよう



ソフトのまちづくり (エリアマネジメント)

地域住民主体のマネジメント組織を設け、個人が活躍しやすい仕組みやまちぐるみの教育、官民協働の管理などをすすめよう



防災・環境

施設や公園を防災・環境の視点で計画し、駅周辺を核として地域全体で防災拠点や環境循環型の都市を形成しよう



6 ビジョン策定の経緯

第1回ワークショップ

「歩いて見つけよう！永山駅周辺の魅力と課題」

3グループに分かれてまち歩きをし、魅力と課題を話し合いました！

前半のまち歩きは、7～8人ずつ3グループに分かれて行いました。普段あまり歩かない場所や、気に留めたことのない場所なども含めて、様々な魅力と課題を発見することができました。

後半のグループワークでは、各班とも、地図には多くの付箋が貼られ、魅力や課題だけではなく、「こうしたらどうだろう」といったアイデアも盛んに話し合われました。

日時 2018年6月17日(日) 14:00～17:00

参加者 23名

プログラム

- 14:00 ● 全体説明
- 14:15 ● 自己紹介、ルート確認
- 14:20 ● まち歩き
A班：駅周辺
B班：駅北側
C班：駅南側
- 15:25 ● 魅力と課題の整理
- 16:20 ● 各グループの発表
- 16:35 ● 意見交換、総括
- 17:00 ● 閉会



まち歩きの様子



グループワークの様子



全体発表の様子

第2回ワークショップ

「理想の永山駅周辺を考えよう！」

魅力と課題を踏まえて、2040年代の永山駅周辺のイメージを描きました！

第1回のまち歩きで把握した永山駅周辺の魅力と課題を踏まえて、2040年代の永山駅周辺を考えました。多摩市から、前提条件となる多摩ニュータウン再生の状況についての説明もありました。

グループワークでは、立場の異なるメンバーから様々なアイデアが飛び出し、各テーブルとも大変盛り上がりしました。現在の状況や実現性を加味しながらも、夢のあふれるマップが出来上がりました。

日時 2018年7月29日(日) 14:00～16:30

参加者 22名

プログラム

- 14:00 ● 全体説明
- 14:25 ● 自己紹介
- 14:30 ● 「どんな永山駅周辺にしたいか考えよう！」
- 15:00 ● 「2040年駅周辺のマップを作ろう！」
- 15:55 ● 各グループの発表
- 16:10 ● 意見交換、総括
- 16:30 ● 閉会



グループワークの様子



グループワークの様子



発表の様子

報告：多摩市ニュータウン再生推進会議（第1回）

第3回（ポスターセッション）

「みんなで考えよう 将来の永山駅」

ポスターセッションを開催し、多くの市民の皆さんと意見交換をしました！

永山フェスティバルと合わせて開催したポスターセッションでは、135名にのぼる市民の皆さまに会場いただき、ワークショップ参加者との自由な意見交換が行われました。

各グループのポスター前で熱心に意見交換する様子が見られ、ご意見ボードにはアイデアが書かれた多くの付せんや「いいねシール」が貼られました。

日時 2018年9月22日(土) 13:00～17:00
(うち 13:30～15:00 ポスターセッション)

来場者 135名

展示内容

- ・ワークショップの概要
- ・第1回ワークショップのまとめ
- ・第2回ワークショップのまとめ
- ・ご意見ボード
- ・アンケート



会場の様子



ポスター前での意見交換



ご意見ボード



模型コーナー

第4回ワークショップ

「永山駅周辺 再構築ビジョンをまとめよう！」

これまでの議論をふまえて、「再構築のポイント」をとりまとめました！

前半のグループワークでは、第3回に検討した将来マップについて、ポスターセッションで得られた意見や新たな情報を踏まえてブラッシュアップし、各班の共通項から機能と動線の考え方をまとめました。

後半のグループワークでは、新たなテーマについてアイデアを出し合うとともに、ワークショップのまとめとなる「再構築のポイント」について話し合いました。

日時 2018年11月11日(日) 14:00～17:00

参加者 18名

プログラム

- 14:00 ● 全体説明
- 14:25 ● 「将来マップをブラッシュアップしよう！」
- 14:50 ● 前半の発表とまとめ
- 15:25 ● 「再構築のポイントをまとめよう！」
- 16:25 ● 各グループの発表
- 16:40 ● 意見交換、総括
- 17:00 ● 閉会



グループワークの様子



グループワークの様子



発表の様子

報告：多摩市ニュータウン再生推進会議（第2回）
第6回多摩ニュータウン再生プロジェクトシンポジウム